

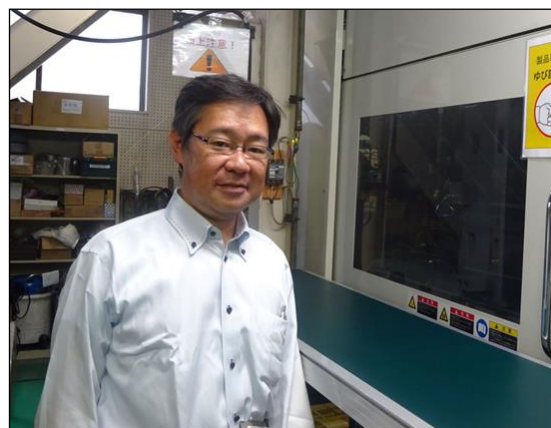
【会情報】

【会員企業ご訪問：Vol154】

株式会社チヨダ（大阪中央支部）

今回は西日本プラスチック大阪中央支部会の株式会社チヨダの代表取締役社長 門阪 好哲様を訪ねました。

本社住所	大阪市生野区巽南 3-19-12
電話	06-6758-1171
FAX	06-6752-6651
資本金	1,000 万円
創業	1964 年 9 月
設置成形機	射出成形機 40 t ~ 450 t 計 9 台 東芝機械製 6 台 東洋機械金属製 2 台 日精樹脂工業製 1 台
使用材料	主にポリ塩化ビニル



代表取締役社長 門阪 好哲氏

創業のきっかけ、沿革

創業者である父が、プラスチック製のパイプを製造していた会社から独立、千代田化成工業として創業したことがきっかけです。社名の「千代田」の由来は、日本国歌の「千代に八千代に～」より引用したと聞いています。

創業当時は、成形機を持たず机 1 つの事務所でスタートしましたが、1970 年に硬質塩化ビニルの電線配管用付属部品の受注を機に、大阪府富田林市に工場を開設。その後、業務拡大に伴い大阪市平野区へ移転、1994 年に現在の大阪市生野区に移転しました。

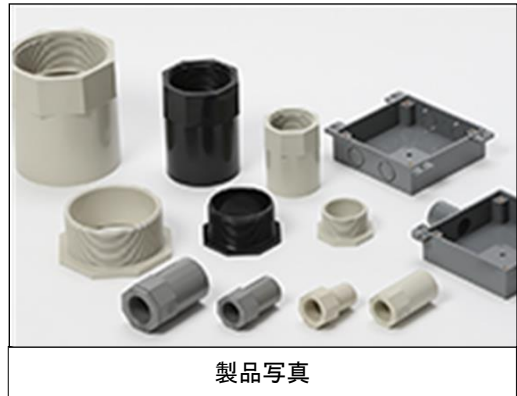
2005 年に私が 2 代目社長として就任しました。



本社外観

主な製造品、自社の強み

主に塩化ビニル特殊配管用継手及び配電機材用絶縁カバーを製造しています。硬質塩化ビニルは、一般的に成形が難しく扱いが難しいとされていますが、当社は長年培ってきた技術力・ノウハウを活かし、長期間に亘る使用（30年～40年）が想定される製品を製造しています。また、塩化ビニルの場合、成形時に発生するガスは金型が錆びる要因となりますが、当社の金型は錆びでこまったことはなく、これも長年のノウハウの蓄積によるものと考えています。



さらに、小型の配電機材用耐圧試験装置を社内で保有している点も強みです。電柱などに設置される配電機材用の絶縁カバーを製造しているのですが、高電圧の電気が製品に流れる可能性があるため、製品の耐電圧を測る為に導入しています。大阪近郊で小型の耐電圧試験装置を保有するのは当社だけであり、最近では他社から試験依頼を業務としてお受けするほどになっています。

働きやすい職場づくりの追求

現在、当社にはパート含め 30 名の従業員がいます。全従業員の平均年齢は 45 歳、成形の現場は 35 歳であり、同業他社に比べれば若いと思います。平均年齢が若い要因は、従業員の定着率の高さだと思っています。近年働き方改革が叫ばれていますが、当社ではそれ以前より労働環境の改善に取り組み、残業時間の削減や完全週休 2 日制導入による年間休日 125 日を実現しています。給与の面で同業他社との差は少ないと思いますが、仕事とプライベートが両立出来る面が若い人材の定着率の高さに表れているのではと感じています。



製品検査室 右奥が配電機材用耐圧試験装置

また、資格取得も積極的に推奨しています。射出成形の技能検定以外にも品質管理責任者や耐電圧試験装置の資格取得も推奨しています。従業員のモチベーションの向上はもちろんですが、資格無しで使用出来ない機器などもあり、有資格者が多いと業

務計画が立てやすくなるメリットがあります。

さらに、成形機の入替えも積極的に行っています。最近では3年に一度のペースで成形機を入替えています。新しい機械は利便性が向上しており、生産性の向上に繋がるだけでなく、機械が新しくなると従業員のモチベーションも上がっているように思います。

始めたばかりの試みですが、パート従業員の短時間労働も実施しています。今後、従業員各個人のライフサイクルに合わせた体制づくりを目指し、より働きやすい職場づくりを行っていきたいと考えています。

※ 会社を訪問して ※

残業時間の削減の為、社長の在社時間を敢えて短時間にされたとお聞きしました。短時間にすることで報告も迅速となり、業務全体のスピードが上がったと伺いましたが、見学させていただく中で、社長がすれ違う従業員の方と時に冗談を交えながら、積極的にコミュニケーションを取られている姿を拝見し、在社時間を短時間にしても従業員の方とのコミュニケーションは欠かさないようにすることが印象的でした。会話される内容も仕事の話ばかりでなく、従業員の方の趣味の話なども交えられ、こういったところも会社の定着率の高さに表れているのではないかと思います。



工場内の様子

また、大阪市内の駅に近く、近隣は住宅街という場所で24時間操業されているにも関わらず、これまで騒音や匂いでの苦情はないと伺いました。防音、防臭対策を万全にされており取材の際も、工場外で音や匂いを感じることはなく、成形しているのか疑問に思う程の静かさに驚かされました。

◎ありがとうございました
取材：事務局 大杉・吉田

※本記事記載の情報については、2019年10月15日現在のものとなります。

掲載希望の方は

事務局(06-6538-6100)までご連絡ください。